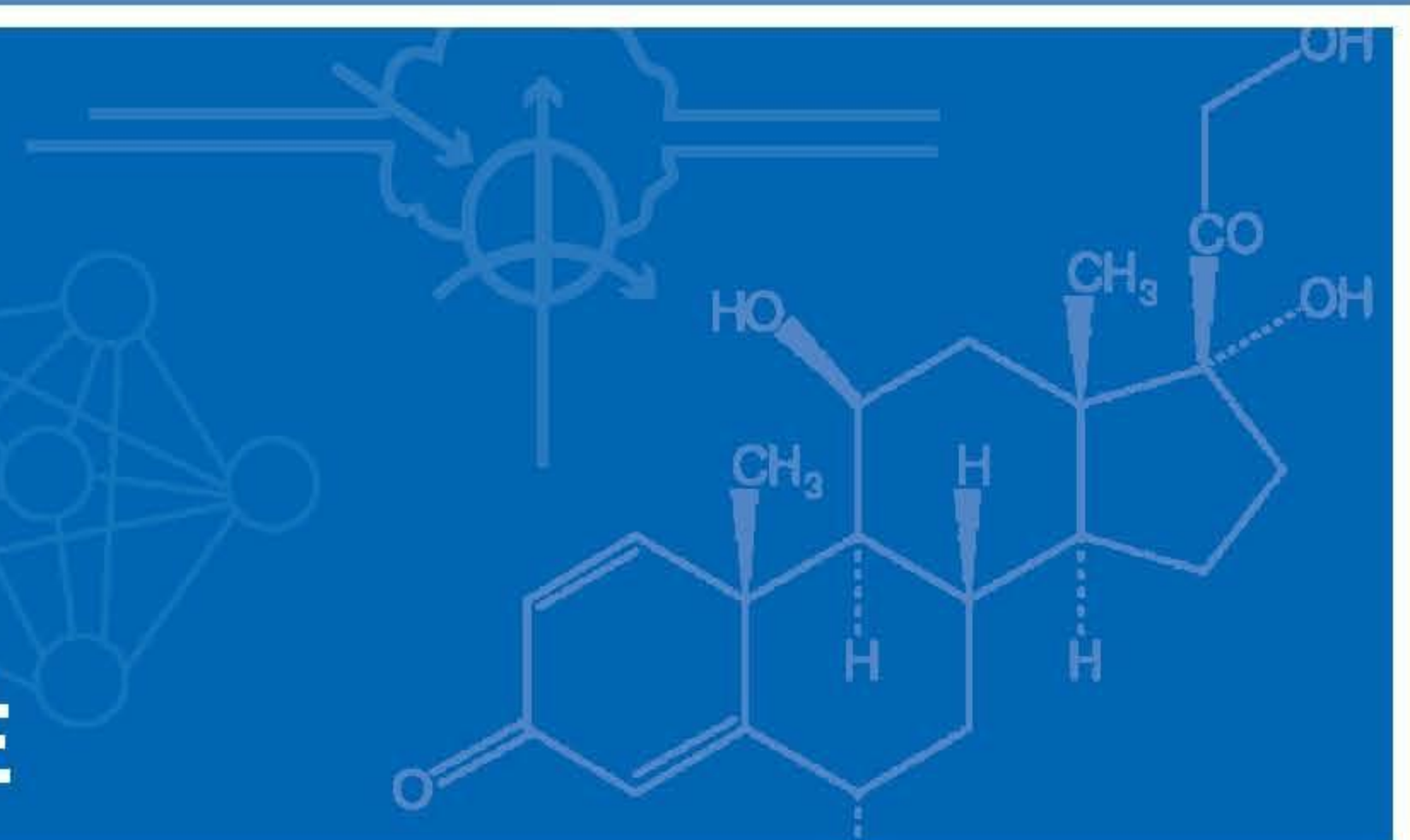


# 日本薬物動態学会 第24回ワークショップ

医薬品開発におけるPPK/PDアプローチの有用性



■ 平成22年4月22日(木)、23日(金)

■ 慶応大学薬学部(港区芝公園1-5-30)

第1日目 4月22日(木) 13:55~17:40

## 特別講演 1

早期臨床試験におけるPK/PDアプローチ

大橋京一(大分医大)

## 特別講演 2

最近の医薬品審査の動向

豊島 聡(医薬品医療機器総合機構)

## 特別講演 3

P450の薬物代謝活性の起源

大村恒雄(九州大学名誉教授)

●懇親会(ワークショップ参加者は無料) 17:40~20:00

第2日目 4月23日(金) 9:00~17:10

●糖尿病治療薬 DPP-IV阻害薬のPK/PD解析

多々見真司(日本ベーリンガーインゲルハイム)

●臨床開発におけるPK/PD解析の実践

谷河賞彦(バイエル薬品)

10:30-10:45 休憩

●新規5-HT<sub>3</sub>受容体拮抗薬, Palonosetronの臨床開発と薬物動態/薬動力学的特長

吉田健一郎(大鵬薬品工業)

●PPK/PDアプローチによる抗菌薬投与法の至適化

猪川和朗(広島大)

12:15-13:30 昼休み

●近未来における医薬品開発の変貌予測

川上浩司(京都大)

●医薬品開発における臨床薬物相互作用試験について

小上淑子(大塚製薬)

15:05-15:20 休憩

●最近の承認審査におけるPKPDの検討事例

佐藤玲子(医薬品医療機器総合機構)

●抗がん薬開発におけるPK/PD解析の有用性

南 博信(神戸大)

17:00-17:10

●おわりに

永山績夫(大鵬薬品工業)

# 日本薬物動態学会 第4回ショートコース

バイオマーカーおよびPK-PDを活用した創薬ADME研究者の取り組み

~臨床POCの成功確度向上を目指して...~

■ 平成22年4月22日(木)  
8:55~12:40

■ 慶応大学薬学部  
(港区芝公園1-5-30)

●1. 創薬研究での活用例1

中井 康博(大正製薬)

●2. 創薬研究での活用例2

松浦 友美(ファイザーUK)

●3. 創薬研究での活用例3

濱田 輝基(武田薬品工業)

●4. 創薬研究での活用例4

田端 健司(アステラス製薬)

●ラウンドテーブル・ディスカッション(昼食・弁当つき)

参加費等の詳細につきましては、学会ホームページ(<http://www.jssx.org/jpn/workshop/ws24/>)に随時掲載いたしますので、ご確認ください。なお、参加申し込みは2010年1月7日(木)よりホームページで受付を開始する予定です。

■最終締切: 2010年2月26日(金) (申込開始: 2010年1月7日(木))

■参加費: 【ワークショップ】 会員12,000円(当日17,000円)、非会員20,000円(当日25,000円)、学生5,000円(当日6,000円)

【ショートコース】 会員18,000円(当日23,000円)、非会員28,000円(当日33,000円)、学生7,000円(当日9,000円)

なお、ワークショップとショートコース両方に同時参加登録された方には以下の割引があります。

会員27,000円(当日36,000円)、非会員40,000円(当日50,000円)、学生8,000円(当日10,000円)

■連絡先: 〒160-0016 東京都新宿区信濃町35 信濃町煉瓦館 財団法人 国際医学情報センター内

日本薬物動態学会第24回ワークショップ/第4回ショートコース登録事務局 TEL:03-5361-7370 FAX:03-5361-7091

E-MAIL:jssx-ws@imic.or.jpあるいはjssx@imic.or.jp 担当:西澤 展美

ワークショップ代表世話人: 永山績夫(大鵬薬品工業株式会社)

ショートコース実行委員長: 寺村俊夫(アステラス製薬株式会社)

主催: 日本薬物動態学会

